

68年5月と現在、 政治と思想を 往還する

68年5月

連続セミナー

と私たち

●5月10日(木) 18:00~20:00

佐藤淳二「68年から人間の終わりを考える:人でなし、あるいはIPSやらAIやら」
小泉義之「68年後の共産党」

●5月17日(木) 18:00~20:00

上尾真道「68年5月と精神医療制度改革のうねり」
立木康介「精神分析の68年5月——「ラカン派」の内と外」

●5月24日(木) 18:00~20:00

佐藤嘉幸・廣瀬純「ドゥルーズ=ガタリと68年5月
——佐藤・廣瀬著『三つの革命』をめぐる」

●5月31日(木) 18:00~20:00

田中祐理子「〈学知ってなんだ〉:エピステモロジーと68年」
王寺賢太「京大人文研のアルチュセール——68年前後」

●6月9日(土) 14:00~16:00

布施哲「イギリスのポスト68年」
市田良彦「68年のドンキホーテ」
ゲスト: 絳秀実

▶聴講無料、事前申し込み不要

場所: 京都大学人文科学研究所本館1F セミナー室1

〒606-8501 京都市左京区吉田本町

(会期中、エントランス・ホールで「西川長夫・祐子旧蔵バリ五月革命文庫」収蔵資料の一部を展示します)

日時: 5月中はいずれも18:00~20:00、6月9日(土)のみ14:00~16:00開催

主催 | 京都大学人文科学研究所+「フーコー研究—人文科学の再批判と新展開」共同研究班

お問合せ | 京都大学人文科学研究所 総務掛 TEL: 075-753-6902 (平日 8:30~17:00)

<http://www.zinbun.kyoto-u.ac.jp> メールアドレス: z-academy@zinbun.kyoto-u.ac.jp

沸き立つような騒乱の日々から半世紀が過ぎた。

その遺産を清算すると告げるネオリベラルな言説をよそに、〈68年5月〉はいまも「反乱」の記憶として私たちとともにある。なぜか。私たちが〈68年5月〉を忘れないのではなく、〈68年5月〉が私たちが忘れないからだ。

だが、〈68年5月〉とはそもそもいかなる出来事／事件だったのか。そこでは何が語られ、何が実現あるいは頓挫したのか。その記憶から、私たちは何をいまもなお取り出すことができるのだろうか。〈68年5月〉を経由して思想から政治を、そして政治から思想を捉え直してきた共同研究「ヨーロッパ現代思想と政治」の成果を踏まえつつ、昨年度新たに発足した共同研究「フーコー研究——人文科学の再批判と新展開」のメンバーたちとともに、現代世界の「原光景」のひとつでもあるこの出来事／事件をいまいちどふりかえろう——いかなるノスタルジーとも無縁の、透徹した「私たちの存在論」の地平で。

佐藤淳二

(さとう・じゅんじ)

1958年生。京都大学人文科学研究所教授。論文に「ラソー問題」から初期マルクスへ（市田・王寺編『現代思想と政治：資本主義・精神分析・哲学』平凡社、2016所収）ほか。

小泉義之

(こいずみ・よしゆき)

1954年生。立命館大学大学院先端研教授。著書に『あたらしい狂気の歴史』（青土社、2018）、『負け組』の哲学（人文書院、2006）、『兵士デカルト』（勁草書房、1995）ほか。

佐藤嘉幸

(さとう・よしゆき)

1971年生。筑波大学准教授。著書に『三つの革命——ドゥルーズ＝ガタリ政治哲学』（廣瀬純との共著、講談社選書メチエ、2017）、『権力と抵抗——フーコー・ドゥルーズ・デリダ・アルチュセール』（人文書院、2008）ほか。

廣瀬 純

(ひろせ・じゅん)

1971年生。龍谷大学経営学部教授。著書に『三つの革命——ドゥルーズ＝ガタリ政治哲学』（佐藤嘉幸との共著、講談社選書メチエ、2017）、『シネマの大義』（フィルムアート社、2017）ほか。

立木康介

(ついき・こうすけ)

1968年生。京都大学人文科学研究所准教授。著書に『狂気の愛、狂女への愛、狂気のなかの愛』（水声社、2016）、『露出せよ、と現代文明は言う』（河出書房新社、2013）ほか。

上尾真道

(うえお・まさみち)

1979年生。京都大学研究員。著書に『ラカン 真理のノスタ』（人文書院、2017）、『発達障害の時代とラカン派精神分析』（共編、晃洋書房、2017）ほか。

田中祐理子

(たなか・ゆりこ)

1973年生。京都大学人文科学研究所助教。著書に『科学と表象』（名古屋大学出版会、2013）、訳書にロート著『カンギレムと経験の統一性』（法政大学出版局、2017）ほか。

王寺賢太

(おうじ・けんた)

1970年生。京都大学人文科学研究所准教授。著書に『現代思想と政治』、『〈ポスト68年〉と私たち』（ともに市田良彦との共編著、平凡社、2016/2017）、*Éprouer l'universel* (Kimé, 1999, M. Xifarasとの共著)ほか。

布施 哲

(ふせ・さとし)

1964年生。名古屋大学文学部・人文学研究科准教授。著書に『現代思想と政治』、『〈ポスト68年〉と私たち』（ともに共著、市田・王寺編、平凡社、2016/2017）、『希望の政治学』（角川学芸、2008）ほか。

市田良彦

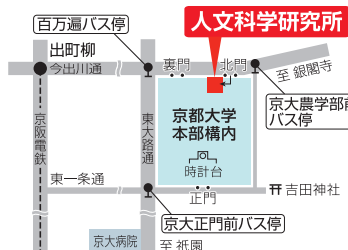
(いちだ・よしひこ)

1957年生。神戸大学国際文化学術研究科教授。著書に『現代思想と政治』、『〈ポスト68年〉と私たち』（ともに王寺賢太との共編著、平凡社、2016/2017）、『アルチュセール——ある連結の哲学』（平凡社、2010）、『存在論的政治』（航思社、2014）ほか。

絳秀実

(すが・ひでみ)

1949年生。文芸批評家。著書に『革命的な、あまりに革命的な——「1968年の革命」史論』（作品社、2003/ちくま学芸文庫、2018）、『1968年』（ちくま新書、2006）、『天皇制の隠語』（航思社、2014）ほか。



【アクセス】

- 京阪電鉄「出町柳駅」下車徒歩15分
- 市バス 京大快速・3・31・65・201・206系統「百万遍」下車
- 市バス 17・203系統「京大農学部前」下車徒歩1分
- hoopバス「京都大学前」下車徒歩8分
- いづれも京都大学北門入ってすぐ右
- ※駐車場はありませんので、公共交通機関をご利用下さい

